

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

平成29年12月20日（水） 午後3時00分から午後3時30分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	小林 一雄
教育長職務代理者	城下 敦子
委 員	寺 島 滋
委 員	北 沢 秀雄
委 員	平田 利江子

○ 説 明 員

中村教育次長、浪方教育参事、小野沢教育総務課長、高木学校教育課長、小林生涯学習・文化財課長、唐澤人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、久保田丸子地域教育事務所長、清水真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、西澤中央公民館次長、黒岩第二給食センター所長、倉澤上野が丘公民館長、飯島上田情報ライブラリー館長

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 東京2020大会マスコット選定における小学生による投票及び東京2020大会マスコット投票宣言について（学校教育課）

○資料1－1により高木学校教育課長説明（要旨）

東京2020大会マスコットは、全国の小学校の学級単位による投票によって選ばれることになった。12月7日にテレビでも発表されたが、マスコットは3つの候補の中から学級ごとにどの案にするかを決定し、各学校が投票結果をとりまとめて投票することになる。投票に際しては、各学級でオリンピック・パラリンピックの理念及び大会マスコットの役割について理解を深める取り組みを行うことになっている。

東京大会の「マスコット投票宣言」は、小学校のマスコット投票への参加を促進しようとする自治体が投票宣言を行うというものであり、上田市においても市内の小学校の積極的な参加を呼び掛ける、あるいはオリンピック・パラリンピック競技大会への参加意識を啓発し、関心を一層高めるために「マスコット投票宣言」を行うこととしたい。この宣言については、本日の協議を問わず宣言を行いたい。宣言を行った自治体は「マスコット投票宣言用 東京2020公認マーク」、「マスコット投票宣言用 東京2020応援マーク」を各種広報媒体において使用することができ、各学校で学校便りや学級通信等で使用することが考えられる。

市内25校の小学校のうち投票するという学校は23校、投票宣言は、12月11日現在において全国で70市町村が宣言を行っている。長野県内では長野市が行っており、上田市においても宣言を行いたい。

○質疑

小林教育長

折角の機会なので、もれのないように25校に投票を行っていただきたい。

○全委員 了承

(2) 平成30年成人式について（生涯学習・文化財課）

○資料1－2により小林生涯学習・文化財課長説明（要旨）

成人になる自覚を深めるという趣旨により、新成人による実行委員会が式の内容等を企画し、中学校区を中心に市内7会場で行う。また、地域の方にも出席いただくことで、地域で祝い励ます成人式にするというものである。日時は平成30年1月7日（日）の成人の日前日であり、丸子・真田・武石地域は午前11時開式、上田地域4会場は午後1時30分開式である。なお、該当者は平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方の1,581名である。出席率は、例年8割程度となっている。記念品は、全会場統一で昨年と同様に上田紬のカード入れとした。ビデオメッセージについては、昨年に引き続き行政チャンネルで作成してアトラクションの中で流し、行政チャンネルとYou Tubeでも流す予定となっている。

○全委員 了承

3 報告事項

(1) 平成29年度「青少年善行表彰」及び「家庭の日」の作文審査結果報告（生涯学習・文化財課）

○資料2により小林生涯学習・文化財課長説明（要旨）

例年行っている青少年善行表彰は、地域社会で善い行いをした青少年（団体を含む）を顕彰することにより誇りと自信を高め、よりよい市民としての豊かな心と実践力の育成・向上を図るという目的に沿い、社会教育委員会との協議を経て、今年度の表彰者を5団体に決定した。「家庭の日」の作文は、毎年、夏休みの宿題として各小中学校から作文を募集しており、応募数は439作品、この中から優秀作品7点、優良作品13点の入選作品を決定した。表彰式は12月2日（土）に創造館文化ホールにおいて行い、母袋市長から各団体、各受賞者へ表彰状を授与した。保護者、学校、自治会関係者等、80名の方が参加し盛大な表彰式となった。

○全委員 了承

(2) 「文化財と文化祭」開催報告（生涯学習・文化財課）

○資料3により小林生涯学習・文化財課長説明（要旨）

この事業は平成27年度から行っており、今年で3年目になる。上田市内にある国指定文化財のほか、長野県や上田市の指定を受けたものなど、これら多くの文化財をより多くの方に知っていただき、後世に継承していくことを目的として、文化財の活用モデルとして行っている。今年度は、平成29年11月26日（日）に旧宣教師館で群馬交響楽団のコンサートを行った。昼の部と夜の部の2回に分け、いずれも軽食を用意し、最初に1階の会場で食事をとった後、旧宣教師館を見学、最後に2階の会場で群馬交響楽団のメンバーによるコンサートを1時間程度お聴きいただいた。会場の広さの都合により各回25名の定員とし、広報を通じて募集を行ったところ、夜の部は定員ちょうどであったが、昼の部は10名ほどオーバーし、抽選により参加者を選んだ。身近に音楽を聞けると大変好評であり、場所についてもなかなか入ったことがない文化財であり、今後も参加したいという感想であった。来年度も、いろいろと計画していきたいと考えている。

○ 質疑

平田委員

市内、県内等の参加状況はどうか。

小林生涯学習・文化財課長

広報で募集したものであり、応募者の中には何人か坂城町等の市外の方もいらっしゃったが、抽選の結果、当選者は全員市内の方であった。

平田委員

この「文化財 d e 文化祭」は3年目の事業ということであるが、今後はどんな展開をしていくのか、また、1年に1回のスタンスで行っていくのか。

小林生涯学習・文化財課長

昨年度までは1年に2回行っており、今年度も2回を予定していたが、会場が狭く昼の部と夜の部の2回に分けて行ったことと、群馬交響楽団ということで金額的にも余裕がなかったため今年度はこの1回としたが、今後は年2回以上の計画をしていきたいと考えている。昨年度の旧常田館製糸場のジャズコンサートでは250名の参加があった。会場の枠により定員を決めたのは今回が初めてであり、今後についてはできるだけ大勢の方が入れる会場で行いたいと考えているが、今回の旧宣教師館も大変好評であったので、この2回とは別にもう少し簡単な形で、コーヒーとケーキをご用意して地元の方に演奏をしていただくなど、旧宣教師館を利用していただけよう検討していきたい。

平田委員

是非、そのような形でつながっていくようお願いしたい。

小林教育長

来年度以降については、会場も含めて検討するのか。

小林生涯学習・文化財課長

そのとおりである。

○ 全委員 了承

(3) 4 大学リレー講座実績報告（生涯学習・文化財課）

○資料4により小林生涯学習・文化財課長説明（要旨）

市内の4大学が、学校の枠を超えて地域に開かれた「学科」を創設し、今回で9回目となる。全4講座に出席した方には修了証を発行し、生涯学習環境の拡充を図っている。今回の受講者は、昨年に比べて約100名増と飛躍的に多くなり、半分の方がリピーター、半分の方が新規という比率であり、年々受講者が増えてかなり定着してきていると感じている。特に今年は、「AI」や「睡眠」といった今話題の講座名であったこともあり、多くの方に参加していただけた。全4回受講者である修了者は現在のところ28名であるが、1月以降に丸子テレビと上田ケーブルビジョンで講座の内容を放映し、それを視聴後に感想文を提出していただくと修了証を発行できるため、修了者の人数は今後増える見込みである。アンケートを行った結果、今年度の受講者は60～70代の方が多いが、高校生や大学生の参加もあり、非常に若い方の参加も多かったことが特徴であった。講座内容については、「大変よい」、「よい」を含めると約8割の方に満足していただけた。キャンパスツアーについては、初めて大学を見学して「学

生たちは素晴らしい環境で勉強できていると感心した」等の感想が寄せられた。次年度以降の継続を望む意見も大変多くあり、来年はちょうど10回目となり、筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所に打診したところ、参加の意向との回答をいただいているため、5大学で行いたいと考えている。

○質疑

小林教育長

テレビの放映は1月以降ということで、まだこれから全講座を受講することも可能ということである。

○全委員 了承

(4) こころのプロジェクト「夢の教室」実施報告（スポーツ推進課）

○ 資料5により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

「夢の教室」は、プロのスポーツ選手が夢先生となり、夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さなどを講義や実技を通じて子どもたちに伝えるというものであり、今年度は小学校5年生を対象に7校15クラスにおいて7月～11月に実施した。参加児童数は合計399人であり、この中には特別支援学級の21人も含まれ、一緒に体育館でのゲームに参加していただいた。学校の先生を対象にしたアンケートでは、5項目に対して5段階評価でそれぞれ概ね4点以上の評価をいただいております、「なかなか夢を持つことができない、恥ずかしいと思う子どもが多い今、夢の大切さに気付くことができた。」などの感想が寄せられた。来年度以降も継続して実施していきたい。

○ 全委員 了承

(5) 平成29年度 第57回上田市短詩型文学祭実施報告（中央公民館）

○資料6により西澤中央公民館次長説明（要旨）

上田市の短詩型文学祭は、昭和36年から57回を数える長い歴史のある文学祭として親しまれている。夏休み前の6月から、千曲市、坂城町を含む東信地域の小中学校に募集をしたところ、1,710人、1,772作品の応募をいただいた。この応募作品の中から、4部門の選者16人に作品を選定していただき、その表彰式を11月26日(日)に文化会館のホールで行った。合計250人の参加をいただき賞状をお渡しした。

○全委員 了承

(6) 行事共催等申請状況について（学校教育課・生涯・文化財課・スポーツ推進課）

○全委員 了承

4 その他

(1) 公民館だより

- ・倉澤上野が丘公民館長より公民館だよりの説明

○全委員 了承

閉会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
